

ハンセン病についての矛盾

ハンセン病は、感染力の弱い病気で、現在では飲み薬で完治できる病気です。そのハンセン病について不思議なことがあります。

昔、ハンセン病は、「強い感染力を持つ恐ろしい病気」であり「遺伝病」であると思われていたことです。よく考えてみれば、この二つは矛盾することではないでしょうか。

もし、本当に強い感染力を持っているとすれば、他の感染症と同じように、どんどん広がっていったことでしょう。しかし、大人の志願者に菌を接種する実験も行われましたが、発症することはありませんでした。

もし、遺伝病であるとするならば、うつることはないので、国の政策として隔離する必要は全くなかったはずですが、

ではなぜ、「感染症」であり「遺伝病」と考えられていたのでしょうか。その答えは二つ考えられます。

一つ目は、病気に対する抵抗力が弱い乳幼児期に、母子等の濃密な関係の中で感染することが多かったことから、「遺伝病」であるという誤った認識が生まれ、「感染症」であり「遺伝病」と考えられていたのではないのでしょうか。

二つ目です。隔離政策は「癩予防法 1931年」「らい予防法 1953年」という法律に基づき、国の政策として進められました。その過程で、矛盾する内容であるにもかかわらずハンセン病の恐ろしさとして喧伝されてきたからなのではないのでしょうか。

らい予防法は 1996 年に廃止され、2001 年には熊本地裁で隔離政策は憲法違反だったという判決も出ましたが、現在でも社会に残る偏見や差別から、苦しみを抱えている人がいます。

ハンセン病問題の最大の課題は、たまたまハンセン病に罹ってしまった人を、「人間として地域社会の中で共に生きる」ことを排除した点にあります。この反省に立って、すべての障がいを持っている人、病んでいる人を地域社会の一員として迎え入れ、共に生きることを目指さなければなりません。

参考

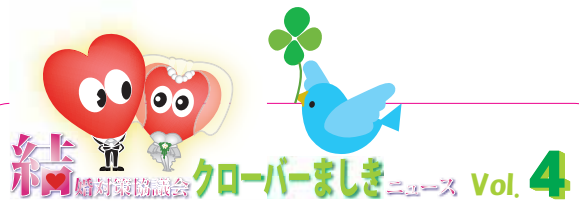
http://www.fureai-fukushi.jp/q_and_a/
<http://www.hansen-okayama.jp/study/index.html>

平成 29 年 町内・御船署管内の事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	発生状況(件)			
	町内		御船署管内	
	5月中	累計	5月中	累計
人身事故	6	37	15	91
物損事故	74	351	183	922
空き巣	1	1	1	2
自販機狙い	0	0	0	0
万引き	2	5	6	24
オートバイ盗	0	1	0	2
自転車盗	1	1	2	9
車上狙い	1	1	4	8

件数は平成 29 年 5 月末現在

岡御船警察署・御船地区防犯協会連合会
 ☎ 282-1110 ☎ 261~264



“モテ男” 講座を開催します

異性と出会う機会があっても、「何を話していいのか分からない」「人と話すのは緊張してなかなか話が続かない」など、お悩みはありませんか？そこで、『モテ男講座～自分磨きをしませんか？～』と題して、話し方や話題の選び方などを学ぶ講座を開催します。

婚活に限らず、自分自身を見つめ直すきっかけにもなると思います。皆さまの参加をお待ちしています。

日時 8月20日(日) 午後7時から

場所 保健福祉センターはぴねす

定員 50人 ※定員になり次第締め切り

受講料 500円 ※申し込み時にいただきます

対象 町内に居住または職場を有する男性(年齢不問)

申込方法 電話、E-Mail、FAXなど ※氏名(ふりがな)、住所、年齢、電話番号(携帯)を明記

申込期限 7月31日(月)まで

岡益城町結婚対策協議会(男女共同参画センター輝らめき館内)

☎ 286-6665 ☎ 286-6927

✉ danjyo@town.mashiki.lg.jp